



2026年3月期 第2四半期（中間期） 業績レビューと見通し

2025年11月4日

会社概要	3
2026年3月期中間会計期間 業績レビュー	
1. 業績概要	5
2. 経営成績	6
3. 業種別売上比率（全社）	7
4. 業種別売上高の推移とDX推進状況	8
5. 業績推移（過去5年における中間会計期間）	
(1) 全社	9
(2) セグメント別業績推移	10
6. 貸借対照表	11
2026年3月期 業績見通し	
7. 対処すべき課題の進捗状況	13
8. 2026年3月期業績見通し	14

会社概要

会社名	株式会社 昭和システムエンジニアリング (Showa System Engineering Corporation)
所在地	東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号
設立	1966年4月（昭和41年）
資本金	6億3,050万円
事業内容	・ 情報システムの開発 ・ システムインテグレーション・サービス ・ 情報システムの開発・運用に関するコンサルティング ・ B P Oサービス
社員数	498名（2025年10月1日現在）
発行済株式数	4,810,000株
株主数	7,081名（2025年9月30日現在）

2026年3月期中間会計期間
業績レビュー

1. 業績概要

売上高

4,178 百万円
(前年同期：4,032百万円)

営業利益

606 百万円
(前年同期：546百万円)

中間純利益

429 百万円
(前年同期：382百万円)

業績の概況

- 2025年4月から新たな中期経営計画『**+transform into Values**』を始動。
4つの基本方針に基づき更なる企業価値向上を目指す。

戦略的人材確保

既存ビジネス領域の維持・拡大

DXビジネス領域の維持・拡大

社内業務基盤におけるデジタル技術の拡大

- 特に重要な経営資源である人材の強化を図るべく積極的に推進。
 - 新卒採用人数拡大に向け体制を強化
 - ビジネスパートナーとの連携強化を図り市場からの人材要請に対応
- その結果、顧客のシステム投資需要を捉え、当中期会計期間の業績は堅調に推移。

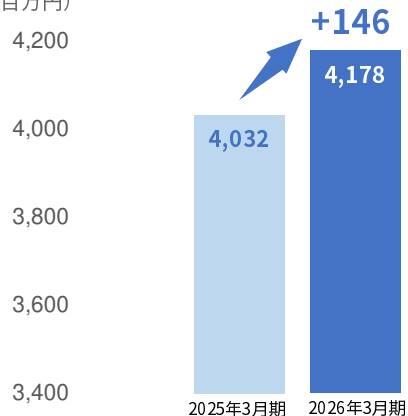
2. 経営成績

- 顧客のシステム投資需要を捉え、売上高、営業利益、中間純利益ともに堅調に推移

	2025年 3月期	2026年 3月期	増減	
(百万円)				
売上高	4,032	4,178	+146	+3.6%
営業利益	546	606	+60	+10.8%
営業利益率	13.5%	14.5%		+1.0pt
中間純利益	382	429	+47	+12.4%

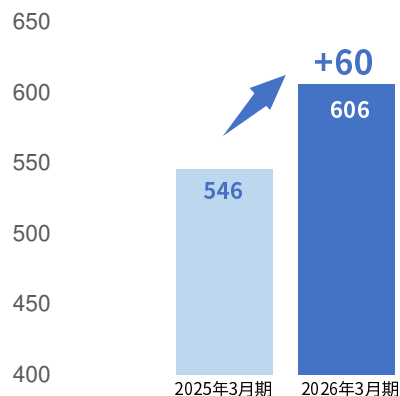
● 売上高

(百万円)



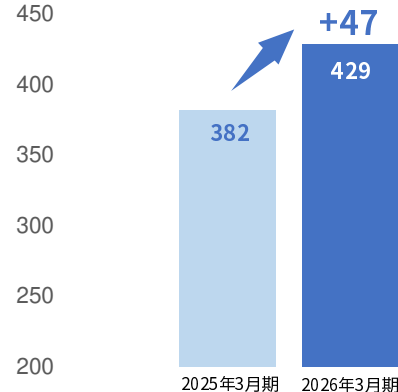
● 営業利益

(百万円)



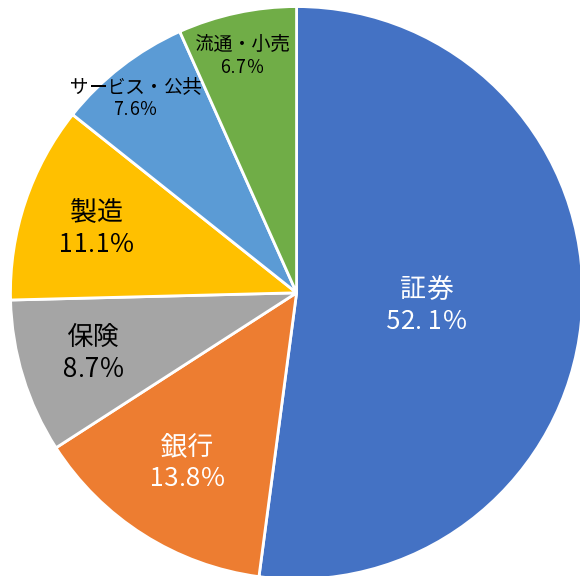
● 中間純利益

(百万円)

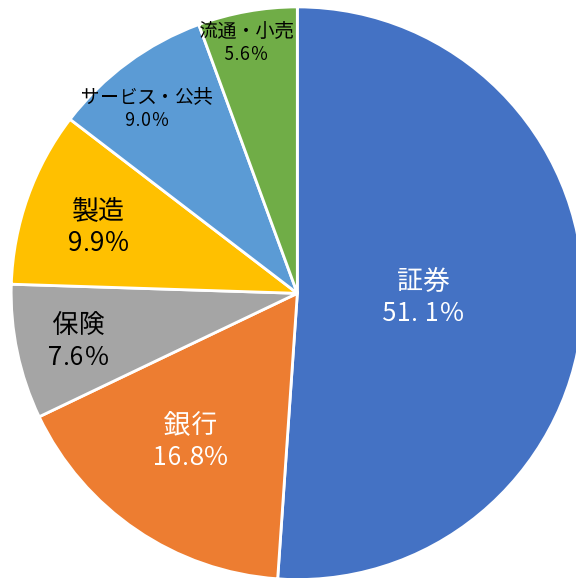


3. 業種別売上比率（全社）

2025年3月期 中間会計期間

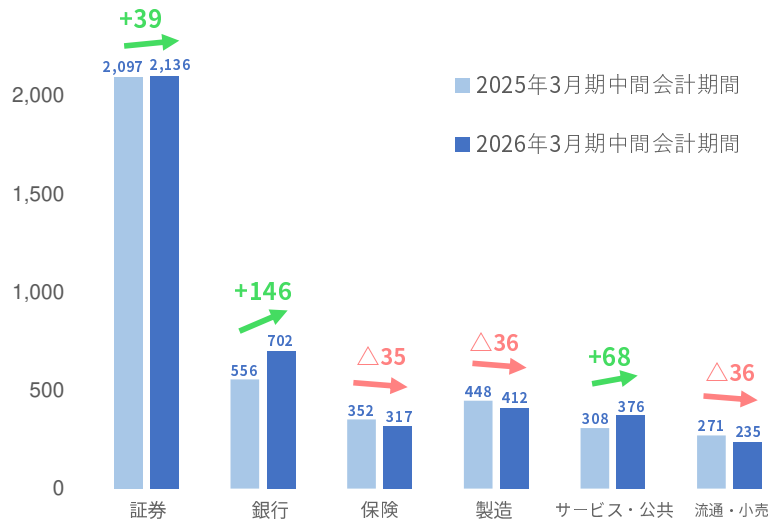


2026年3月期 中間会計期間



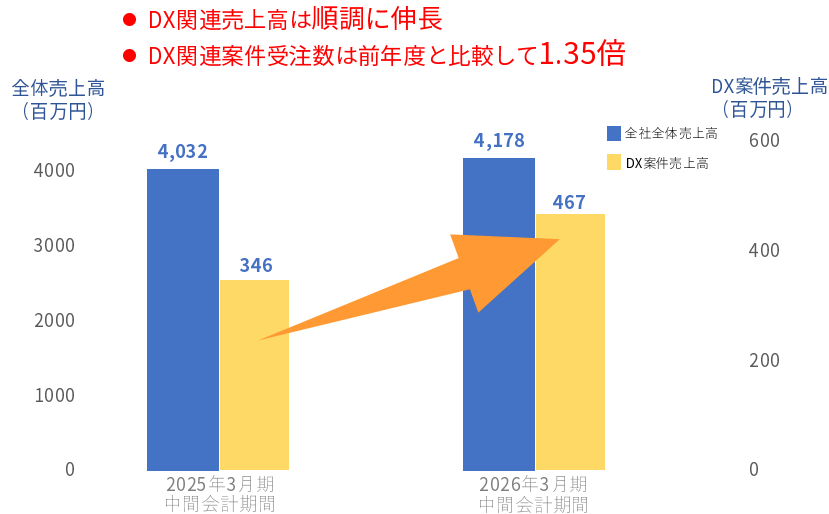
4. 業種別売上高の推移とDX推進状況

●業種別売上高



- 主力である証券・銀行分野では顧客のシステム投資需要を捉え売上高増加

●DX関連案件売上高



- AI・クラウド関連案件の受注は順調に拡大
- 引き続き、既存ビジネス領域とDXビジネス領域の両輪を当社の成長基盤として強化

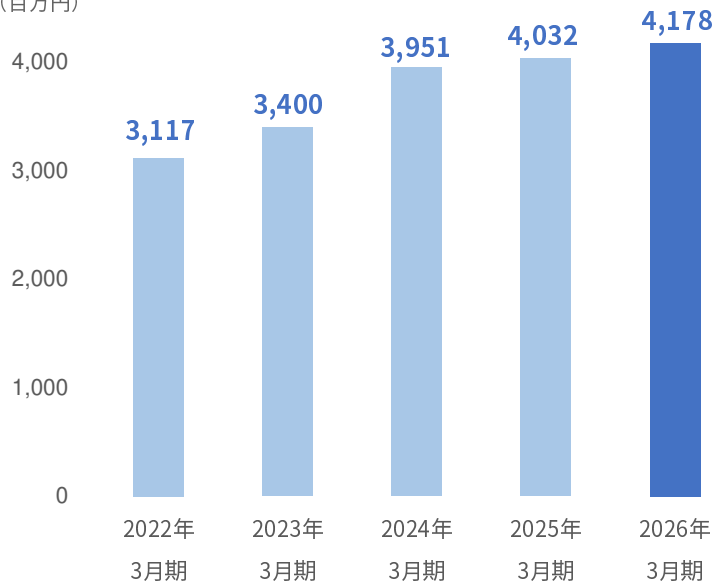
5. 業績推移 (過去5年における中間会計期間)

● 過去5年を通じ堅実な業績で推移

(1) 全社

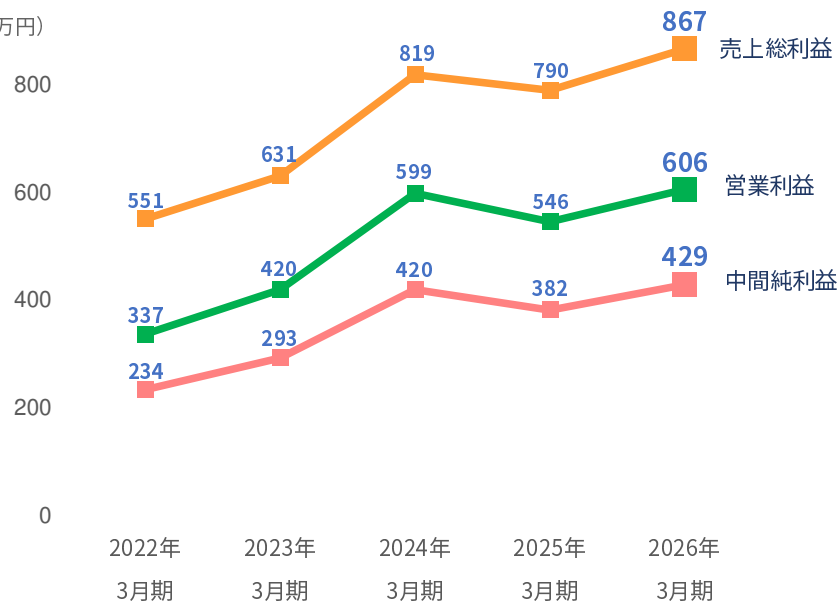
● 売上高

(百万円)



● 売上総利益／営業利益／中間純利益

(百万円)

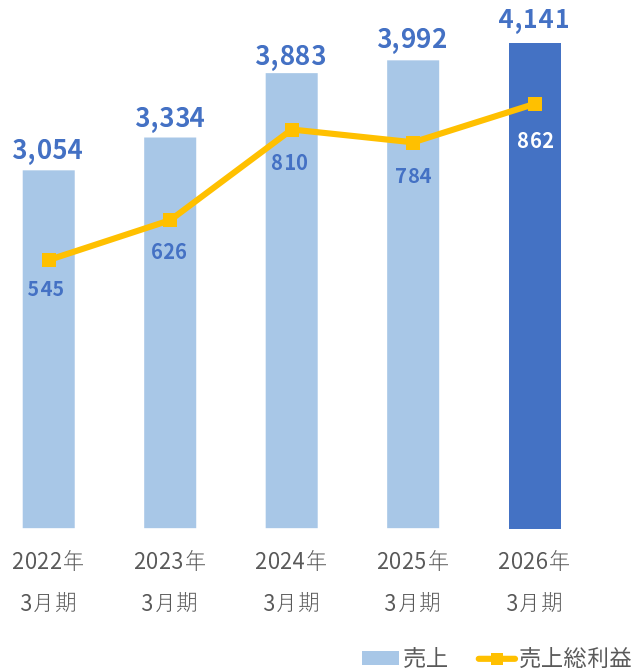


5. 業績推移 (過去5年における中間会計期間)

(2) セグメント別業績推移

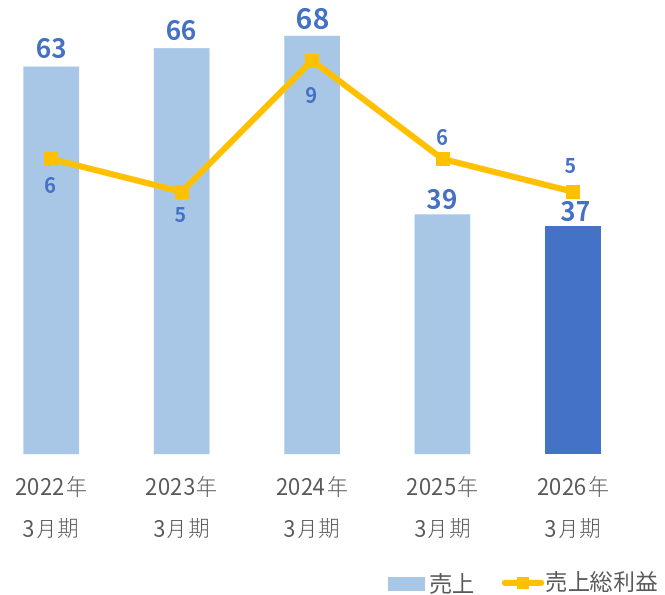
●ソフトウェア開発事業

(百万円)



●BPO事業

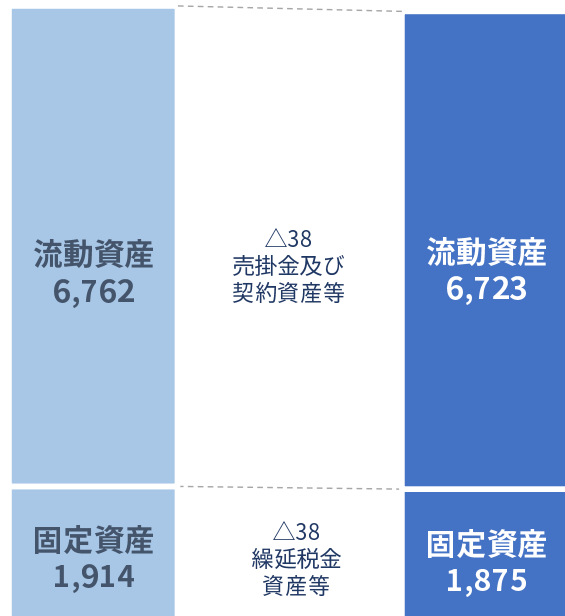
(百万円)



6. 貸借対照表

●資産の部

(百万円)

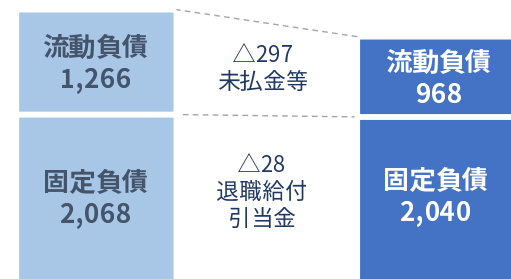


2025年3月期 期末

2026年3月期 中間期末

●負債の部

(百万円)

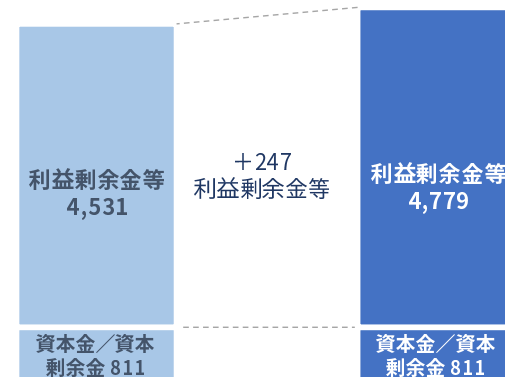


2025年3月期 期末

2026年3月期 中間期末

●純資産の部

(百万円)



2025年3月期 期末

2026年3月期 中間期末

2026年3月期
業績見通し

7. 対処すべき課題の対応状況

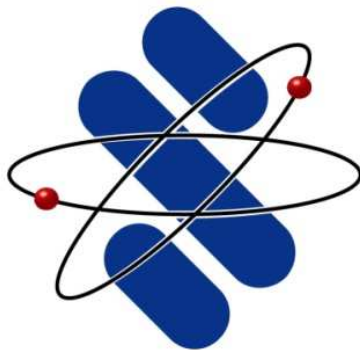
対処すべき課題	年度施策	上期対応状況
1. 戦略的人材確保	● 新卒採用人数の拡大	● 組織横断のタスクチームを設置し、研修体制および実施基盤に関する課題抽出と対策の検討を推進
2. 既存ビジネス領域の維持・拡大	● 顧客の課題解決に貢献 ● 状況に応じた技術活用と積極的な提案	● 生成AIへの取組み、PM育成等による体制強化を推進 ● 優良ビジネスパートナーとの連携を拡大し、参画体制を強化
3. DXビジネス領域の維持・拡大	● DX人材育成と実践的なスキルの向上	● 選抜育成による技術力強化 ・ データサイエンティスト、AIプランナー育成 ・ クラウドエンジニア育成 ● 全社員向けのDXリテラシー教育の実施 ● DXビジネス領域の売上増加
4. 社内業務基盤におけるデジタル技術の拡大	● 社内業務のデジタル化を推進	● 導入済SaaSツールの評価と改善を継続 ● 生成AIツールを導入し、効果の検証を実施

引き続き上記施策に注力

8. 2026年3月期業績見通し

公表値（5月13日）から変更はありません

(百万円)	(前年同期) 2025年3月期実績	2026年3月期通期予想	
		通期予想	前年同期比
売上高	8,317	8,500	+183
営業利益	948	969	+21
経常利益	962	983	+21
当期純利益	714	668	△46



株式会社 昭和システムエンジニアリング

(本資料についてのご注意)

本資料における業績の見通しは、当社が現時点で入手可能な情報による判断及び判定に基づき算定しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の売上高及び利益は予想数値と異なる可能性があり、その確実性を保証するものではありません。